

思考コードで入試問題を徹底解剖！

(学校が求める思考力が見えてくる)

2019 年度 雙葉 (算数)

思考コードの割合比較

			2018年	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年
変換操作	全体関係	変容 3	6% A3	12%	24% B3	31%	C3	
複雑操作	カテゴライズ	複雑 2	A2		29% B2	25%	C2	
手順操作	単純関係	単純 1	A1		41% B1	44%	C1	
(数)	(言語)	合計	6%	12%	94%	88%		
			A 知識・理解思考		B 論理的思考		C 創造的思考	
			知識・理解		応用・論理		批判・創造	

* 全設問数に対する割合を算出しています

昨年度と比べると、非常に高難度な変換操作、関係把握が求められる B3 の問題、複雑な情報を整理する力、思考錯誤を通じて情報を獲得する力が試される B2 の問題が減り、手順操作、情報理解が求められる B1 の問題が増えました。多くの受験生にとって経験があると思われる問題、解答までの方針を明確にしやすい問題が目立ちましたが、途中計算の数値が複雑であるため、細かな点にも注意を払う必要があります。

1 計算、数の性質 A3、B1

(1)は、例年出題される計算です。手順通りに正確に計算する力が求められます。(2)は、チョコレートとグミ、グミとあめの個数の差に着目して、共通の約数を活用します。多くの受験生が、一度は経験したことがある問題と言えます。

2 平面図形 B1、B2

(1)は、正三角形、正方形の個数に着目します。ミスなく、ていねいに計算をします。(2)は、A、B が正三角形の辺の真ん中であることに着目します。正方形の 1 辺を底辺とする三角形を活用することがポイントです。

3 規則性 A3、B1、B2

規則を求め、その規則を活用して特定の数を求める問題です。(1)は、ていねいな計算力が求められます。(1)で解答にミスがあると、(2)、(3)にも影響します。落ち着いて小数第 8 位までの商を求めます。(2)は、(1)で見つけた値を使って、規則を活用します。(3)は、循環する 6 個の数に含まれる「1」と共に、商の整数部分の「1」にも着目する点がポイントです。

4 割合・比の問題 B1、B2

単位あたりの量に着目して、具体的な収穫量を求める問題です。(1)は、「A と B の収穫が同じであること」を利用します。(2)は、A と B の面積と、単位当たりの収穫量の差に着目します。解答までの筋道は立てやすい問題と言えます。

5 食塩水の濃度 B1~B3

食塩水を移し替えるようすをていねいに整理して、状況を正確にとらえます。(1)では、作業①の後の B の濃度、作業②の後の A の濃度に着目します。(2)は、「作業②の後、B と C の濃度が等しくなった」点に着目して、食塩の量を活用することがポイントです。(3)も、「最初、C の濃度は A の濃度の 3 倍」である点に着目して、食塩の量を活用することがポイントとなります。